

特集 IV

特集 新素材・新知見

必要とするが、このYCDは単に「運〇屋」として終わらない。

胆汁酸による乳化されたαリポ酸を無事に腸まで届けた後、残されたYCDはアミノ酸に分解されることでブドウ糖になる。YCDの分解スピードは遅く、ブドウ糖はゆっくり吸収されるため、炭水化物摂取時の急激な血糖値上昇後の低血糖状態も防ぐことができる。また、長時間に渡る、ゆっくりとしたエネルギー供給は持久力を高める効果や、糖尿病患者の空腹時性低血糖の緩和にもつながる。

このことから同社は、αリポ酸摂取時の自発性低血糖症に対しても、YCD包接で解決できるとして、提案していく考え。同社はYCDの持久力向上についてマウスを用いた運動試験で確認しており、この内容を8月に開催される日本栄養臨床学会で発表する。

血糖値を安定化、持久力向上

αリポ酸YCD包接体

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、☎03-5614-7147)はYCD(シクロデキストリン)包接によってαリポ酸の安

定化、吸収性向上を可能にしているが、最近マスコミに取り上げられた自発性低血糖症についても解決できると提案している。

YCDは、難消化性デキストリンのαCD、βCDとは異なり、体内で分解される消化性デキストリン。CDは不安定なαリポ酸を包接すること

で、安定した状態で腸内に運〇、吸収させる。

これまでCDの有効利用の一つとして包接対象の安定化、吸収性改善が発表されてきたが、消化性デキストリンならではのYCDの機能性として、ブドウ糖のスクロースによる運動持久力向上、血糖値の急激な上昇・下降の抑制が新たに注目され、研究が進んでいる。

例えば100mgのαリポ酸を包接する場合、YCDは4倍の400mgを